

もくじ

特集

「シルボンヌ全国大会  
2023 in 福岡」に参画

- 01 Smile to Smile講座・献立勉強会
- 03 安全・適正就業対策委員会だより
- 04 自転車ヘルメット着用推進宣言・会員紹介
- 05 7区通信・会員の広場
- 09 わが町ぶらり散歩
- 10 互助会活動報告



特集

「シルボンヌ全国大会2023 in 福岡」に参画



令和5年11月29日(水)公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会(全シ協)主催の「シルボンヌ全国大会2023 in 福岡」が博多区のJR九州ホールで開催されました。

このイベントは、全国のシルバー人材センターで活躍中の23万人以上の女性会員に、より一層輝いていただきたいとの願いを込めて開催されたもので、今回で4回目、地方開催は2022年の名古屋に続き2回目です。シルボンヌとは、シルバーにボンヌ(フランス語で女性のお手伝い、親切、優れたなどの意味)を合わせた造語で、シルバー人材センターの女性会員の愛称です。

太宰府市、鹿児島市、山口県光市、熊本県八代市のセンターの会員活動紹介や全国の手作り作品の展示、福岡県内のシルボンヌが出演するファッションショーや参加者全員が参加したりフレッシュ体操など、温かく手作り感あふれる内容で、福岡県のシルボンヌの元気を発信しました。エンディングでは、福岡市シルバー人材センターのイメージソング「きつと もっと これから」(作詞・作曲・歌:半崎 美子氏)を会場全員で歌いました。それに合わせ、当センターの女性会員8人が手話ダンスを披露し、締めくくりを盛り上げました。

当日の様子は、全シ協のホームページ(YouTube)で視聴できます。ぜひご覧ください。



YouTube

令和5年度実績  
(令和5年12月)

会員数	男性	女性	就業者数	就業率
6,940人	4,111人	2,829人	3,976人	57.3%

公益社団法人  
福岡市シルバー人材センター  
■ <https://www.fukuoka-sjc.org/>

# Smile to Smile 使い方講座

会員向け /

## スマホ&パソコン教室開催しました!!



 **Smile to Smile** へ登録!

1月10日(水)に、東出張所および西出張所でsmile to smile使い方講座が開催されました。

西出張所では、西パソコン教室講師である早川会員を講師に、smile to smileの登録方法、センターからのお知らせや配分金明細、就業情報の確認方法等を勉強しました。

参加した会員が持参したスマホは、iPhone、

android、らくらくホンと様々でした。特にらくらくホンは操作にちょっとした工夫を加える必要があるなど、最初はとまどうことも多かったようですが、操作方法を講師から学び、問題なく操作ができるようになりました。少しでも操作に不安のある方は、是非今後の教室にご参加ください。

当教室は、全出張所で順次開催予定です。

**smile to smile未登録の会員の方は、ぜひこの機会に登録をお願いします。**

教室の開催日時については、各出張所へお問い合わせください。

# 福祉・家事援助班 献立勉強会



11月21日(火)に、福岡市鮮魚市場会館2階料理講習室にて福祉・家事援助サービス班「献立勉強会」が開催されました。

コロナ禍を経て約4年ぶりの開催となり、長年当センターの献立勉強会の講師をしている古川かし子先生をお招きし、17名が参加しました。

献立勉強会は、会場を鮮魚市場会館としていることから、勉強会当日に捕れた魚を使用し、アジの刺身、アジと大根のアーリオオーリオ、大根もち、おにぎらず(折りたたみおにぎり)、豆腐とあおさの吸い物という献立でした。

勉強会では、古川先生のユーモアのある楽

しい説明に笑いが絶えず、大変充実した時間となりました。

参加した会員の中には、初めて魚をさばく会員もあり、四苦八苦する様子もみられましたが、最後には揃って美味しく食べることができ、また参加したいと多くの声が上がっていました。





# 就業以外でも 十分な注意を!



寒い日がまだまだ続きます。寒いと体が固まって、動きも鈍くなり、ケガもしやすくなります。できる範囲で運動し、体をほぐしてから出かけましょう。

今年度は自転車による事故も多くみられます。皆さんヘルメットはかぶっていますか? 自転車での死亡事故のうち約6割が頭を打ったことによるものと言われています。自転車に乗るときはヘルメットをかぶりましょう!



## 事故事例 1 | 自転車で帰宅途中、信号のない交差点で左折してきた車にはねられた

**傷害** ボンネットに乗り上げ地面に落下。  
左腰を強打。打撲で1週間以上痛みが続いた。  
(ヘルメット未着用)

**対策** 自転車でも徒歩でも、車が必ず止まるとは  
思いこまないこと。車の動きに注意しながら  
通行しましょう。ヘルメットも着用を!



## 事故事例 2 | 就業場所において、地面に置いていた秤につまずき仰向けに転倒

**傷害** 頭蓋骨骨折、硬膜下血腫、左足小指骨折。  
10日間入院。

**対策** 移動するときは周囲の状況を確認する。  
つまずく元になる物は、邪魔にならない場所に移動しましょう。



## 事故事例 3 | 刈払機での作業中、刃をブロック塀に当ててはじかれ、 民家アルミフェンスドアを破損

**賠償** 修理代 10万5,600円

**対策** ブロック塀など建造物の周囲は刈払機を使用  
しない! 手刈りをしましょう。



### 令和5年度事故報告

令和5年12月末現在(累計保険適用件数)

#### 傷害事故

20件  
(前年度比+1)

#### 賠償事故

16件  
(前年度比+10)

#### 自動車事故

11件  
(前年度比+4)

#### 合計

47件  
(前年度比+15)

# 城南出張所は 自転車ヘルメット着用推進宣言事業所に 登録しました

城南警察署 登録第1号

11月14日(火)午前10時より、城南警察署の署長室において認定書の授与式が行われ、有馬健一署長より橋本委員長へ認定書が手渡されました。

城南出張所では8・9月に「自転車用ヘルメット」の共同購入を企画し、全会員に働きかけた結果、34名の会員がヘルメットを購入しました。

城南出張所では、引き続き「ヘルメット着用会員拡大」に向け第2弾を検討中です。



## 会員紹介

広報委員：鳴岡 裕司

### 産物 それは心と体の化学反応

シルバー人材センターに入会して7年。清掃の仕事をしていて関係でシルバーでも清掃の仕事。毎日、楽しくそして元気に!

絵画のジャンルは分かりませんが、自分で名付るとしたら「線描画」。きっかけは孫の勉強を見ているときにひらめいたもので、4年前から描写しています。

絵の構図は仕事に映る窓ガラス、壁等からイメージが湧き、早く1ヶ月位で完成します。100均のボールペンと定規。これが必需品です。

これからも描き続け、いつの日かみんなに鑑賞していただければ、うれしいです。一本、一本の線の繊細さ、描き終わった後、色から出るグラデーション、そんな発見もして頂ければ、幸いです。時には人間の泣き顔、そして美しい女性にも見えます。

ボールペン一本+定規で描く  
久保山 政洋会員



完成した「線描画」



## 安全・適正 就業促進大会

広報委員 宮川 洋

東出張所の令和5年度「安全・適正就業促進大会」は、12月6日(水)なみきスクエアで約140名の会員が出席して開催されました。

大会は、下見副委員長の開会の辞でスタート、初めに津崎常務理事と川島専任担当理事から事故が多く発生しており、安全を最優先に就業してほしいとの挨拶がありました。

続いて菊堂委員長が、東出張所の会員数や配分金・就業率の推移、就業職種などの業務概況と事故発生状況について、パワーポイントを使っ



て説明しました。なかでも非常事態宣言のきっかけとなった事故については詳しい報告があり「安全就業を徹底し、無事故を目指しましょう」と呼びかけました。

休憩を挟み、福岡市消費生活センターの中村亜希様を講師に招いて「知って防ごう!消費者トラブル」の講演がありました。冒頭、出席者の心理テストを行ない結果の説明をしたあと、高齢者を狙った消費トラブルについてスクリーンを使ってわかりやすく解説され、トラブルにあわないための方法を伝授されました。

最後に道路維持補修班の瓜生班長の安全就業宣言と小林監事の閉会の辞で終了しましたが、事故ゼロへ向けての安全就業を進めていく思いをさらに強くした大会でした。



## 安全・適正 就業促進大会

広報委員 白石 寛治

12月18日(月)13時30分から、博多市民センター大ホールにおいて60名の会員が出席して開催されました。

開会に先立ち、この1年間に亡くなった会員の方々のご冥福を祈って、1分間の黙祷が行われました。

初めに、小山田委員長から開会の挨拶があり、「今回の大会は、就業事故防止の取り組みを主体として企画しました。就業に当たっては、安全を最優先でお願いしたい」旨の発言がありました。

次いで、津崎常務理事及び川島専任担当理事の挨拶があった後、安全・適正就業担当の吉富副委員長から、最近発生した事故の状況と主な原因・対策について説明がありました。引き続き、刈払班長の森 輝昌会員による安全宣言で前半を終了しました。

休憩を挟み、後半は株式会社明治様から「人生100年時代～カラダは食べ物からできている～」と題した講演があった後、吉富副委員長の発声により大会を終了しました。

また、大会の前後に会場外で行われた「骨密度の測定」は大変好評でした。



骨密度の測定の様子



## 令和5年度 福祉・家事援助サービス班 全体会議を開催

広報委員 佐藤 一雄

中央出張所では12月15日(金) 10時30分より、中央区今泉の「あすみん」(福岡市NPOボランティア交流センター)にて、令和5年度の福祉・家事援助サービス班全体会議を開催しました。事務局、出張所スタッフ、会員合わせて45名の参加でした。

会議は緒方家事班担当が開会を宣言し、引き続き事務局より櫻井専任担当理事が挨拶。櫻井理事は家事援助事業の概況を述べ、多くの女性会員の活躍に感謝するとともに今後の変わらぬ協力を依頼しました。

次に生活支援事業所管理者として川野職員が挨拶に立ち、介護保険制度と家事援助サービスをうまく使い分けることで高齢者の福祉に大きく貢献できることを指摘し、「事業の更なる拡大に努めたい」としました。

挨拶に続いて中央出張所の森永担当並びに加藤班長と中村・諸永両リーダーが紹介され、班長のリードで福祉・家事援助サービス憲章を唱和。またセンターのテーマソング「きっと もっと これから」を一同で斉唱し、出席者の意思統一を図りました。

次に福岡市福祉局福岡100推進課の中園久夫様を講師に迎え、『「福岡100」プロジェクトについて』と題した講演が行われました。人生100年時代に向けた福岡市のまちづくりの取組みに、出席者は真剣に耳を傾けていました。

休憩をはさんで、就業体験談の発表や事故事例報告、就業にあたっての注意喚起などが行われ、12時30分に閉会しました。



## 晴天の秋 互助会バスハイク敢行

広報委員 鳴岡 裕司

「 神 の 旅  
二 見 ケ 浦 の  
風 ぎ わ た る 」

伊都菜彩、つまんでごらん、桜井神社、二見ヶ浦、食事処「ぞうお」へと。

青い空、青い海 私の心はスカイブルー。

時代屋の男と女。潮騒の音に夏の思い出を、サンセットに自分の軌跡を重ね、シルバーで働いて良かったと思い、右に左に揺られながら、車窓を眺める。

新しい友、新しい出会い。そして酒のとも。

乾杯のきらりグラスは夜明けの華となる。帰りのバスでしみじみと感じた心境です。来年もきっと同じ風景を見ているだろうと思いつつ、バスを降りました。



桜井神社 起源は？

飛び入り参加  
城南橋本委員長



11/14・15・16 3日間 総勢 62名参加



## 城南区

### 秋の『お食事会』

～晴天の糸島にて～

広報委員 衛藤 忠済

昨年引き続き互助会共催の「秋のお食事会」を実施しました。11月15日(水)11時、2台の送迎バスに総勢43名の会員が分乗し、会場の活魚茶屋「ぞうお」糸島本店に向け出発しました。

正午に到着、集合写真撮影のあと食事会は始まりました。お店自慢の会席料理に舌鼓、仲間との楽しい会話に皆さんお酒も進みました。会場から眺める海の景色も美しく予定の2時間はあっという間でした。

食事会終了後、糸島の海岸を散策し楽しい一日は終了しました。



### 民间接遇・コンプライアンス研修会

12月1日(金)城南市民センターにおいて令和5年度「民间接遇・コンプライアンス研修会」を実施しました。入会1～2年目の会員19名(民間就業)が参加しました。

徳島欣子講師(麻生教育サービス株式会社)の進行で、日常活動の中で起こりがちな課題について、4グループに分かれて全員で話し合い、答えを求めていきました。対応事例の演習では、各グループ代表2名による発表を聞き、その発表内容に感銘の拍手あり、語り口に爆笑ありと大いに盛り上がりました。

接遇の基本や、法令順守の大切さを再確認できた貴重な3時間でした。



## 早良区

### 福祉・家事援助 サービス班全体会議

広報委員 金田 博保

12月4日(月)、早良市民センターで45名の会員参加で標記会議が開催され、中野委員長はじめ櫻井専任理事、川野職員、三坂安全担当の挨拶や説明が行われました。(株)パロマの担当者による講演の後、吉川会員によるムーンライトセレナーデをはじめ3曲のサクソ演奏で会場を和ませました。

家事班の班長とリーダー紹介に続き、小泊会員による就業体験談があり、「諸々の事があっても利用者のおかげでこの仕事ができるんだ、との思いでやっている」と前向きな話を聞かせてもらいました。



その後4グループに分かれてのグループワークでは、「普段相談できずに困っていることなど、ジャンジャン出してください」との内山班長の言葉通り、どのグループの意見交換も非常に賑やかで活発に行われました。2時間弱の会議は小林監事の挨拶で終了となりました。





## 「紅葉に染まって」 晩秋の朝倉路バスハイク

広報委員 大西 秀人

今年の互助会「晩秋の朝倉路散策バスハイク」は「感動」「堪能」「体験」の実践ツアーです。参加定員40名。募集開始早々3日目で、すでに定員となりました。

令和5年11月24日(金)朝9時定刻通り西出張所を出発、一路晩秋の朝倉路へ。「秋月城址」を埋め尽くす「紅葉」に「感動」。その後昼食予定の天領地「日田」豆田町へ。

当地で有名な千屋の「日田まぶし」(ひつまぶし)の食三昧を全員が「堪能」。帰路のバス内でも大いに話題となるほどでした。



豆田町散策後、吉井町の柿園へ移動。

佐一園「観光農園」での「柿狩り」を「体験」。農園の方から良柿の見分け方、摘果方法、価格等の説明を受けたあと、果樹園内に入り、各々柿の大きさ、色付き、重さを仲間と相談、比較しながら収穫していました。

今回は近場の行程でしたが「感動」「堪能」「体験」を十二分に味わうことが出来ました。次回の「バスハイク」も今回以上に期待しましょう。



# 会員の広場

私の楽しみは月に1回の船釣りです。

ホームグラウンドは有明海、島原湾や天草灘です。釣り仲間と未明に福岡を出発し、熊本港を目指します。熊本の仲間に合流し、遊漁船は夜明けとともに出航です。

本日は眼前に雲仙普賢岳を見ながらのタイ釣りです。午後1時早や納竿の時間、大物には出会えませんでした。今日も楽しい一日でした。

家での道具作りも楽しみのひとつです。金色の錘で良く釣れたよ、と聞けば塗料で金色に塗ったりして・・・と。

タイのシーズンも終わり今年の釣行も終了。

明けて二月のメバル釣りを今から楽しみにしています。

城南区 衛藤 忠済会員

熊本港を出港して  
すぐに日の出



海の向こうに  
雲仙普賢岳が  
見えます



名人の  
真似をしても  
釣れませんが





今月の「わが町ぶらり散歩」は中央区大濠公園界限を散策します。

順路は福岡縣護国神社を出発して、廣田弘毅像、福岡市美術館、大濠公園日本庭園を巡ります。

## 福岡縣護国神社

国体道路に面した大きな鳥居をくぐり、緑に囲まれた参道を進むと本殿前の広大な境内に出ます。明治維新から太平洋戦争までの国難に殉じた福岡県関係者約13万柱を祀る福岡縣護国神社は、全国にある護国神社の中でも、民間人も祀る沖縄県護国神社に次いで2番目に多いとか。



明治元年に福岡藩主が、戊辰戦争に殉じた藩士を祀るために創建した招魂社が神社の由来で、現在の場所に移ったのは昭和18年のことでした。

## 廣田弘毅像



護国神社を後にして国体道路を渡ったところに、福岡出身の元総理大臣・廣田弘毅の銅像が立ちます。福岡市天神に生まれ、修猷館、一高、東大と進み、外務官僚となり、二・二六事件直後に内閣総理大臣を拝命。軍の綱紀粛正に死力を尽くし、軍部の暴走に抵抗したと碑銘は記します。

しかし、極東軍事裁判は廣田弘毅をA級戦犯として絞首刑に。処刑されたA級戦犯7名のうち、文官は廣田弘毅のみ。他の6名は全員が陸軍軍人でした。

1982年に時の福岡市長・進藤一馬氏を銅像建設期成会の会長として、像が建立されました。

## 福岡市美術館



美術館前の信号を北に進むと福岡市美術館に。有名な「三日月と鐘の上を跳ぶ野うさぎ」の彫刻が出迎えてくれます。美術館は1979年に開館し、内外の近代絵画・彫刻と仏教美術を常設展示しています。

2019年にリニューアル工事が完成し、館内から直接大濠公園に出られるようになりました。また、1階のカフェにはテラスサイド席が設けられ、大濠公園を一望しながらティータイムが楽しめます。休館日は月曜日と年末年始(12/28～1/4)です。



## 大濠公園日本庭園



美術館を大濠公園側に出て左に進むと、立派な冠木門が眼に入ります。

ここが大濠公園日本庭園の入り口です。「水の公園」である大濠公園の中であって、日本庭園には水の表情ごとに「池泉庭」「曲水庭」「枯山水庭」と3つのゾーンがあり、それぞれに異なった趣の庭園美を楽しめます。庭の設計は「昭和の小堀遠州」と称えられた著名な作庭家、中根金作氏の手になります。

休園日は月曜日と年末年始(12/29～1/3)、65歳以上の方は入園料250円が無料になります。年齢のわかるものをお忘れなく。



# 互助会活動報告



令和5年度互助会活動の報告を致します。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが令和5年5月「5類感染症」に変更となり、互助会活動も活発になって来ました。「大濠公園ハイキング」や「歴史探訪天神まち歩き」など各業務委員が分担し事業実施に向け取り組みました。「大濠公園ハイキング」は小雨の中、前年を大きく上回る会員85名また「歴史探訪天神まち歩き」も秋晴れのもと予想上回る会員94名の参加で実施しました。また、各出張所ではさまざまな活動が実施されました。(別表1参照)

さらに、互助会事業の二本柱は「親睦を図る各種事業の実施」と「弔慰金の給付」ですが、コロナ感染拡大により行事中止のため予算実行されなかった、令和2年度行事助成金について議論を重ね、活用することといたしました。「出張所の活動を盛り上げる」ための“一時的特別措置助成金”として3年間分割し各出張所に配分することに決めました。その活用方法は「会員への有益性」が担保できれば、出張所の判断で良いことに致しました。出張所の自主的な活動に有効に生かされることを期待します。

次年度も互助会活動は、会員の親睦を目的とした「ハイキング」「歴史探訪」の2行事は残しつつ、令和5年度実施した助成金も一定額確保するなど検討していきたいと考えています。

この他出張所独自の企画で会員の交流機会を作っています。一部を紹介しますと、安全就業大会でサークルメンバーによる日頃の成果の発表の場を設けたり、ボウリング大会やクリスマスコンサートを行うなど、楽しみを増やす取り組み等を実施されています。

いずれも他地区からの参加も大歓迎で、幅広く交流をすすめて行きたいと思っています。上記のように互助会の活動の一部をご紹介しましたが、会員の皆さんには互助会の活動を知っていただき、行事に奮ってご参加いただければと思います。

出張所名	助成金活用
東	日帰りバス旅行(熊本方面)
博多	柳川日帰り親睦旅行(柳川)
中央	ホテルオークラ(ランチ)
南	日帰りバスツアー(ぞうお)
城南	食事会(ぞうお)
早良	日帰りハイク(有田方面)
西	日帰りバス旅行(秋月・日田方面) クリスマスコンサート

別表1

## 「西区 2023」

### クリスマスコンサート

「西出張所」は令和5年12月15日昨年に続きクリスマスコンサートの中川理事長にご参加いただき開催しました。田島ギターアンサンブル(シルバーOB、会員)エレキギター演奏、歌、ハーモニカ演奏、フルート演奏(西出張所会員、早良出張所会員)篠笛演奏(南出張所委員長)など盛況で皆さん楽しんでいただきました。他出張所からの参加もあり、幅広く交流をし互助会活動の活性化になればと考えます。

#### 演奏曲

- ジングルベル
- コーヒールンバ
- いい日旅立ち
- 糸
- 昴
- きよしこの夜 他



以上、本年度の活動報告と致します。(互助会会長:生島 和憲)

## 事務局からのお知らせ

# 退会をお考えの方へ

退会をするためには、「退会届」の提出が必要になります。

退会をご希望の方は、必ず令和6年3月31日までに所属の出張所で退会の手続きをお済ませください。

令和6年度4月1日時点で会員資格をお持ちの方は、令和6年度会費の納入の必要があります。ご注意ください。

出張所	住所	電話番号	
各出張所のお問合せ先	<b>東出張所</b>	〒812-0061 東区筥松2丁目1-27	092-624-4680
	<b>博多出張所</b>	〒812-0893 博多区那珂2丁目5-1山浦第3ビル4号室	092-414-4680
	<b>中央出張所</b>	〒810-0022 中央区薬院4丁目1-27薬院大通センタービル壱番館3階	092-526-4680
	<b>南出張所</b>	〒815-0033 南区大橋3丁目17-3	092-551-4680
	<b>城南出張所</b>	〒814-0103 城南区烏飼6丁目1-18	092-845-4680
	<b>早良出張所</b>	〒814-0006 早良区百道2丁目1-35	092-821-4680
	<b>西出張所</b>	〒819-0002 西区姪の浜4丁目8-28	092-881-4680

## 健康診断について

皆さまがお持ちの会員手帳の中の「安全・適正就業基準」に「健康管理」という条項(第10条)があります。そこには「**会員は常に健康維持に努め、健康診断は進んで受けなければならない。**」と記載されています。健康への意識向上が求められるところです。

国民健康保険に加入の60歳以上74歳までの方は、福岡市の「よかドック」の特定健診をご利用ください。また、75歳以上の方は福岡県が実施する「後期高齢者健康診査」があります。いずれも費用は\*500円です。

(\*満70歳~74歳又は市県民税非課税世帯のよかドック対象者は無料)

60~74歳 よかドックご案内センター(092-711-4826)

75歳以上 福岡県後期高齢者医療広域連合(092-651-3111)

今すぐお尋ね  
ください!

または

区役所の保健福祉センター健康課(各区)や行きつけの医療機関へ

なお、協会けんぽ(092-283-7621)、共済、各種企業や団体の組合健康保険にご加入の方は健康保険証に記載がある連絡先にお問い合わせください。また、**受診後は年度内に必ず所属出張所に連絡**しましょう。新型コロナウイルスやインフルエンザの感染予防はもちろん、自分の健康は自分で守りましょう。

ご意見やお便りをお待ちしています

ふくおかシルバーだより

発行元

公益社団法人 福岡市シルバー人材センター

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目25-15

E-mail: honbu@fukuoka-sjc.org

TEL: 092-643-8200 FAX: 092-651-5000

https://www.fukuoka-sjc.org/

